



# 甲状腺機能低下症

内分泌・代謝内科

CTCAE Grade	投与の可否	対処方法
Grade1 ●症状がなく、TSH<10mIU/L	投与を継続	2~3週毎にTSH, FT3, FT4の推移をモニタリングし、 症状の発現を注意深く観察する
Grade2 ●中等度の症状がある;日常生活 には支障がない;TSH $\geq$ 10mIU/L	症状の改善ない しは検査値の正 常化まで休止を 検討 症状が改善した 場合(ホルモン 補充療法の有無 は問わない)、投 与を再開	内分泌代謝内科にコンサルト 症状がある場合や無症状でもTSHが2桁の場合は 甲状腺ホルモン療法を開始 甲状腺機能検査を実施し、甲状腺ホルモン補充量 を1カ月毎に漸減し甲状腺機能が正常化するように 調整する 甲状腺機能が安定すれば、6週毎に甲状腺機能検 査を実施
Grade3 ●高度の症状がある;医学的に重 大であり、生命を脅かす恐れがあり、 入院を要する;日常生活が困難である Grade4 ●生命を脅かす;緊急処置を要する	症状の改善ない しは検査値の正 常化まで休止を 検討 症状が改善した 場合(ホルモン 補充療法の有無 は問わない)、投 与を再開	内分泌代謝内科にコンサルト 粘液水腫性昏睡の症状(徐脈・低体温)があれば、 集学的治療を行う 症状が安定した場合は、Grade 2に準じて治療、評 価を行う